

2021年度 発達支援つむぎ 桶川ルーム 職員アンケート改善策報告

いつも発達支援つむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。

今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長または職員にお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
体制設備・環境について	Q2	入口や指導室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、お子さまが活動するに当たり安全な環境であるか。	4.29	清潔を心掛け、保護者様やお子さまが過ごしやすいだけでなく、職員も働きやすい環境を保ちます。
	Q3	職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	4.86	一日の職員配置数を順守するとともに職員の専門性を活かすことのできる研修や事例検討などを行っていき、ルームの発展を目指します。
	Q4	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	4.57	職員それぞれ支援の終了時間や記録等業務で休憩開始時間は異なりますが、休憩時間の確保を徹底してまいります。
	Q5	ルーム内の環境や指導員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		清潔を心掛けていただきありがとうございます。これからも利用者だけではなく、職員も働きやすい環境に努めてまいります。
業務改善について	Q6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	4.14	職員が効率良く業務が行えるように計画性を持って業務に取り組めることを目指します。
	Q7	保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.43	小さなことでもご意見があった際には、職員全員で共有し、最善策を考えてまいります。
	Q8	この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	4.43	掲示を徹底し、ご利用者さまや職員に必要な情報をお伝えしてまいります。
	Q9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3.86	内部監査事項や改善すべき点は速やかに共有し、迅速に対応してまいります。
	Q10	職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	4.14	外部研修参加の難しさなどありますが、研修機会を作り、職員の専門性や資質の向上を図ることに努めてまいります。
	Q11	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		職員の負担にならないよう業務分担なども行い、業務時間内や期日までに終わらせるよう時間の確保を徹底してまいります。
適切な支援の提供について	Q12	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.57	必要に応じて、発達検査やアセスメントツールを活用しています。今後も検査項目や所見の理解を深める勉強を企画してまいります。
	Q13	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.57	日々のお子さまの様子や保護者様のニーズを共有し、策定会議を通して個別支援計画書の作成に努めてまいります。
	Q14	グループ指導や個別指導のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.43	戸外活動などを通して、お子さまの「やってみよう」「何でだろう」を大切に、日々の支援や活動の提供に努めてまいります。
	Q15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.86	月毎の活動を職員同士で話し合いをしながら決めております。今後もお子さまの様子や季節などを意識したプログラムを計画してまいります。
	Q16	プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.29	プログラム前には話し合う時間を設けております。今後も確保するよう努めてまいります。
	Q17	支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.43	支援は担当制ではないため、今後も共有の時間を確保するよう努めてまいります。
	Q18	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	4.43	業務時間内で終わらせるよう、記録のフォーマットの見直しや改善に努め、日々の支援の記録を徹底してまいります。
	Q19	定期的モニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていますか。	4.86	対象のお子さまにつきましては策定会議を職員間で行っております。今後も支援計画書作成に努めてまいります。
	Q20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	4.29	今後も職員と定期的にガイドラインの内容を共有し、お子さまの様子に合わせて、支援や活動の提供を行ってまいります。
	Q21	適切な指導の提供について、ご意見をお聞かせください。		お子さまの様子に関して、職員間で差が生じないよう情報共有やルーム独自のツールを作成しております。今後もこうした対応で運用に努めてまいります。
保護者との連携について	Q22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.43	お子さまだけではなく、保護者様からいただいた内容等については会議などで、共通理解に努めてまいります。
	Q23	所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に務めているか。	3.71	保護者様に対して制度の理解を深め、所属園との連携に努めていきます。必要に応じて訪問等を行います。
	Q24	児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に務めているか。	3.71	公的な支援センターとの情報共有は行っています。近隣の事業所に関して挨拶やパンフレットの配布を行ってまいります。
	Q25	児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.29	放課後等デイサービス事業所の情報共有のために職員は情報収集に努め、保護者様との情報共有を行ってまいります。

保護者との関係機関について	Q26	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.57	直接の情報共有は少ないですが、電話等での共有は行っています。研修等の参加はあまりできていないですが、参加できる機会を設けるよう努めてまいります。
	Q27	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	3.14	地域の会議の参加に難しさを感じておりますが、まずは情報共有を徹底し、参加に繋がるよう努めてまいります。
	Q28	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	4.57	マンスリーのお子さまだけでなく、戸外や保育室を介して関わる機会を設けています。園児だけではなく地域子育て支援カフェ（ちきんえつ）や公園などを介して、関わる機会を設けるよう努めてまいります。
	Q29	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	3.00	日常の療育・支援の中で地域の商業施設などに行く機会は増えています。今後は招待できるよう計画してまいります。
	Q30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか。	3.14	保護者交流会や掲示などを通して、情報提供に努めています。保護者様向けの勉強会や研修は計画できるような検討してまいります。
	Q31	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		一部のお子さまに関しては、所属園の訪問などを行い、連携を行っております。連携先を広げ、深められるよう努めてまいります。
保護者やお子さまへの対応などについて	Q32	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.57	今後も丁寧な対応に努めてまいります。些細な事でも、何かありましたら職員までお伝えください。
	Q33	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3.71	支援前後の時間で相談等にお答えできるよう心掛けております。今後も月1回の事業所内相談支援加算を使ってすすめてまいります。
	Q34	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	4.43	保護者交流会を開催しました。下半期も開催を予定しております。保護者様に情報共有できるよう努めてまいります。
	Q35	お子さまや保護者様からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.71	いただいたご意見は、その日のうちに職員で共有し、迅速に対応するように努めてまいります。
	Q36	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、お子さまや保護者様に対して情報を発信できているか。	4.29	支援の空き状況や体験学習などの情報発信を行っております。今後も日々更新を心掛けていきます。
	Q37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。（例：分かりやすい言葉かけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど）	4.29	お子さまのご様子に合わせて、言葉かけをさせていただいております。今後も言葉のスピードや声量にも配慮して、関わっていただけるよう努めてまいります。
	Q38	個人情報の取扱に十分注意しているか。	4.43	保護者様に対して、契約時に個人情報の取り扱いのご説明をさせていただいております。記録などの個人情報もありますので、管理・保管を徹底してまいります。
	Q39	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.43	会議体だけではなく、日ごろから情報共有を行っております。今後も怠らないように努めてまいります。
	Q40	保護者やお子さまへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		コロナウイルスの影響もあり、保護者会や体験学習の開催が難しい現状があります。コロナ禍でもできることを模索してまいりますので、ご意見等ありましたらお聞かせください。
	非常時の対応について	Q41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	4.00
Q42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.57	毎月、様々な災害を想定して避難訓練を行っています。警察・消防署とも連携を図り、万が一の災害に備えてまいります。
Q43		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	3.57	研修機会を設け、職員間で意識を高めてまいります。
Q44		ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.71	毎日、ヒヤリハット・インシデントの確認を行っています。会議体で話し合いができるよう努めてまいります。
Q45		非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		毎日、ヒヤリハットの共有を行い、お子さまの対応や非常時の対応を共有しています。
満足度について	Q46	利用児はつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.43	今後もお子さまが「楽しそう」「やってみたい」と思える活動や環境設定などに努めてまいります。
	Q47	つむぎの支援を通じて、利用児の変化や成長を実感することがあるか。	4.86	散歩や戸外活動が増えました。室内と戸外時の様子の違いなどから、お子さまの表情や様子の変化や成長が見受けられます。
	Q48	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		今後も職員が働きやすい環境に努めてまいります。

アンケート実施期間：2021年8月13日～9月5日
全回答数：7

発達支援つむぎ 桶川ルーム